

1984 (毎月1回)
4月号

(村の面積)
332.60km²
発行所 福井県大野郡和泉村

広報 いずみ

(昭和59年4月1日現在)

村の人口	
総人口	1,310人
男	659人
女	651人
出生	1人
死亡	1人
転入	11人
転出	24人
世帯数	426世帯



4月1日(日)和泉中学校で開校式が行われました。
いよいよ4月から新生中学校として出発すること
になりました。

みんなで越美北線を利用しよう。

59年度

予算及び施政方針

村長 新井 一雄

五十九年度の予算をご審議
いただくに際しまして、予算
編成に対する考え方、並びに
財政の状況を申し上げ、議員

各位の隔意なきご批判と村政
執行に対するご理解及びご協
力を賜りますよう、お願い
申し上げます。

私は、五十五年八月選挙で
当選の榮に浴し、村長の重責
を担うことになりましたから
早やくも三年八ヶ月が経過
いたしました。この間、激動す

る世界情勢のなかにあつて、
我が国の社会経済もまた激動
を続け、現在もお絶えざる
変化の過程にあることは、各
位のご承知のところであ
ります。

これに伴つて、地方行政も
また大きな転換期にあること
を深く自覚しつつ、現代の変
化に適切に対処し、将来、私
たちの子孫が和泉村に生まれ

た幸せを感じ、ゆとりと活力
をもつて過していくことがで
きるような安定した、村づく
りのために堅実な村政を執行

し、村民各位の信頼にこたえ
たいと鋭意努力してまいりま
した。

しかしながら、皆様にご満
意いただけるまでの成果を挙
げ得るまでに至っておりませ
んが、果てしない行政目標に
向つて、全力を傾けて村政に

取り組む所存でありますので
なにとぞご理解あるご鞭撻の
程をお願い申し上げます。

さて、五十八年度の我が国
経済について政府は、米国を
中心とする世界景気の回復、

原油価格の低下による交易条
件の改善、物価の安定などを
背景として輸出及び生産が増
加するなど、景気は緩やかな

がら着実な回復を示し、こう
したなかで、国内需要は緩慢
な伸びであったが、除々に持
ち直しの動きを強めており、
景気の動向には、業種別、地
域別の跛行性が見られ、雇用
情勢は厳しい状況が続いたが
年度後半に至り改善の動きが
見られたとしております。

しかしながら、こうした政
府見解にもかかわらず、我々
の住む未端の農山村には、今
なお、この景気の動向が波及
するには至っておらず、総じ
てなお深刻な状況が続くもの
と予想せざるを得ません。

五十九年度政府一般会計予
算の編成方針によりますと、
財政改革を強力に推進するた
め、社会情勢の変化に忠じて
歳出の徹底した見直しを行う

こととして、経費の節減合理
化に努め、とくに一般歳出に
ついては、全体として前年度
同額以下に圧縮する。財政投
融資計画についても、厳しい

原資事情にかんがみ、その規
模の抑制を図る。各省庁の部
局など及び特殊法人などにつ
いては、既存機構の合理的再
編成を行う。国家公務員につ

いては、定員削減を着実に実
施する。各省庁の経常事務費
については、厳にこれを抑制
し前年度と同額の範囲にとど
める。
歳入については、公共料金
社会保険料などの適正化を図
り、公正な費用負担の確保に
努める。また地方公共団体に
対しても、現在の財政状況に

かんがみ、国と同一の基調に
より歳出を極力抑制するとと
もに、一般行政経費の節減合
理化、定員及び給与の適切な
管理を行うことにより、財源
の重点的かつ効率的な配分を
行い、節度ある財政運営を図
るよう要請する等々となつて
おります。

このように、異例なまでに
厳しい国家財政を取り巻く環
境のなかで、編成された五十
九年度政府一般会計予算は、
総額五十兆六千二百七十二億
円と、五十八年度に比較して
二千四百七十八億円の増額で
わずか〇・五%の伸びにとど
まり、これは三十年度の〇・

八%減以来の低い伸び率の超
緊縮型予算となつたわけであ
ります。

自治省における五十九年度
の地方財政取支の見通しによ
りますと、来年度の地方財政
は一般財源である地方税、地
方譲与税、地方交付税の総額

が今年度と比べ、三・二%の
微増にとどまる半面、人件費
や公債費などの義務的経費が
これを上回るような伸びを示
す場合もあるので、経費全般
の徹底した節減合理化と使用

料、手数料などの自己財源の
積極的確保を求めると、
地方単独事業量の確保をも訴
えている状況であります。

以上のような政府予算のな
かで、地方自治体の財政運営
の指針となる五十九年度地方
財政計画の規模は、約四十八
兆二千八百億円となり、伸び
率一・七%増で、実質的には
三十九年度計画の一・六%増に
次ぐ超緊縮型となつています。

先にも申し述べましたとお
り一般財源総額が、三・二%
の微増にとどまる半面、人件
費など義務的経費の伸びが予
測されることから、自治の財
政運営が極めて厳しくなるも
のとして、使用料、手数料、
分担金など地方税以外の歳入

について出来る限り増収確保
を図り、たとえば国の徴収基
準を大きく下回る保育料の適
正化などが強く求められてい
るところであります。

政府予算における公共事業
関係費は、前年度対比〇・八
%の減となり、地方財政計画
でも投資的経費が三・四%の
マイナスの見込みで、地方経
済に及ぼす影響は極めて大き
いものと憂慮されるところで

あります。

しかしながら、厳しい自治体の台所とは関係なく、地域住民の自治体に対する要求は増大し、多種多様化しているこれにどう対処するかは、市政の大きな課題であります。

村長改選の年でもあり、いわゆる骨格予算ということも考えましたが、積雪多量地帯では、最も事業を促進しなければならぬ重要時期であることを考え、また村内経済の活力を促進すべく財政は厳しいが、できるだけ村民の要請にこたえて単独事業を積極的に採択し、年間予算を編成した次第であります。

このたび提案いたしました五十九年度予算は、次のとおりであります。

- 一般会計 計 十二億八千一百二十万円
- 簡易水道事業特別会計 計 七百五十一万一千円
- 国民健康保険事業特別会計 計 五千七百十七万円
- 診療所事業特別会計 計 二千七百八十一万二千元
- 老人医療事業特別会計 計 五千八百三十九万三千元
- 農業共済事業特別会計 計

国民休養地事業特別会計

三十三億六千九百五十万円、一般会計及び各種事業特別会計の予算総額は、十五億一千三十九万七千円となりました。

これは、前年度に比較して総額で一億四千九百九十一万五千円の増額(十一%増)で、このうち一般会計は九千六百万円の増で八・一%の伸びとなり、結果的には前年度一般会計の伸び率〇・四%を大きく上回ることになりました。

国の厳しい財政計画を踏まえて、人件費や物件費などの事務的経費を極力削減に努めたにもかかわらず、高い伸び率を示したことは、投資的経費が前年度は予算総額の三〇・二%であったのに対し、新年度は三六・八%と大きく上

回りに、さらに各特別会計に対する繰出金が大幅に増加した結果であります。特別会計では、国民健康保険事業で一千三百四十九万九千円、診療所事業で三百九十一万二千元、老人医療事業で三千九百三十九万九千円と大幅に増額を示しております。

その原因としては、検診事業の充実、制度の啓もう啓発

または医療費の通知などによりその抑制に努めたにもかかわらず、相反して五十八年度の七十歳以上の老人医療費は前年度対比百四十六%、金額では四千二百万円を超える勢いであります。

このため、新年度国保会計予算は、老人保健拠出金を一千六十三万二千元と倍増し、またあらたに近年急増しております高額な医療費の支出に対応すべく、高額療養費共同事業拠出金を含めて計上した結果であります。今後この激増する医療費を抑制するため

地域に密着した検診事業の実施、制度の啓もう啓発などに一層の努力をほらう必要に迫られておるところであります。

次に国民休養地事業特別会計で、七百九十万三千円の増額となっておりませんが、オープン以来三年目の五十八年度は、相当な営業実績を上げることができましたが、今後、さらは一層の成果を期待してモトクロス用のコース設定のため、建設費を計上したことによるものであります。

新年度予算の主な事業は、次のとおりであります。

第一には、農林水産業の振興対策であります。前年度から総事業費六億円をかけ、五ヶ年計画で着手した新林業構造改善事業は、二年目に入り林道新線開設及び木材工芸品加工施設などを含めて八千四百六十九万六千円を計上、

その他林道改良、維持関係事業に二千五十九万五千円、集団化施設促進事業に八百万円、特用林産物振興対策事業に三百八十万円を計上、さらに農村基盤総合整備事業による排水路施設整備に二千七百二十七万円、第三期山村振興農林漁業対策事業では、農林漁業者などの健康増進施設を総額二億四千万円をかけ、二年

継続施工の計画で九千七百万円を計上いたしました。

これらの事業はいずれも農林業の振興とあいまって、農林業従事者はもちろん、全村民の健康増進や社会体育の場として、その役割を期待するものであります。その他各地区から強く要望されております農業用施設改良整備についても九百四十万

円を計上し、要請にこたえることといたしました。

村有林保育事業は将来に備える財産形成の意味から、わずかながら増額し一千六十万円を計上したのであります。

過疎対策の一環として発足した特定産業振興パイロット事業を、さらに強力で推進し指導強化のため林産物生産促進組合に対する補助及び各種事業奨励補助などを含め、産業振興費として一千五十一万七千円を計上し、地場産業の育成を積極的に推進するため配慮いたしました。

次に観光資源として貴重な淡水魚の増殖を図るため、前年度と同額の三百万円を計上し、稚魚の放流事業を行うことといたしました。

第二には、生活環境の整備であります。三年継続で着手した村道池ヶ島線八千代橋改良事業も、いよいよ最終年度となり、三千九百万円で年度内に完成を目指しております。その他道路はゆとりある地域社会の形成の基礎となる観点から、村道の維持改良を進めるため、前年度を大きく上回る五千二百九十万円を計

上し、整備することにいたしました。また、さらに各集落周辺河川の地域的な災害の発生や拡大を防ぐため、河川整備事業に三千七百五十万円を計上し、生活環境の整備と災害の未然防止に資することにしたのであります。

第三には、商工鉱業者及び一般住民に対する資金融資であります。商工鉱業振興資金はその需要を考慮して七千万円に減額、住宅安定資金は従来どおり一千万円とし、生活安定資金は五百万円増額して一千五百万円といたしましたので、新年度の貸付金原資預託は総額九千五百万円となり、金融機関を経て一億八千万円の貸出しが行われるわけであり、商工鉱業の振興と住民生活の安定に寄与できるものと考えております。

第四には、教育文化の面でありますが、過疎化の進行に伴う児童、生徒の著しい減少によって、教育レベルの低下が懸念されていましたが、幸い村民各位の絶大なるご理解により中学校統廃合が実現の運びとなりました。その通学

用スクールバス購入費として九百九十五万円、その他プール維持補修などに八百三十八万円を計上し、学力の向上と施設の整備を図ることといたしました。

その他新年度から水力発電施設周辺地域交付金の増加が見込めることになりましたので、これに対応する事業としてテニスコートの新設などに二千三百三十万円を計上し、民宿などの誘客に資するためには、主要事業について申し述べましたが、国・県の公共事業の抑制は、農山村に至るまで影響し、村内経済の停滞も憂慮されるに堪がみ、財源の許す範囲で各地区から出された要望事項のうち、緊急度の高いものから単独事業として採択して、予算化いたしました。

したがいまして、前年度予算における投資的経費は、予算総額に対し三〇・二%の三億五千八百三十五万一千円でありましたが、新年度は総額の三六・八%にあたる四億七千二百四十七千円と大幅に増額計上し、地域経済の活

性化を図るために配意いたしました。歳入については、次のとおりであります。

- 村税 二億四千六百七十四万九千円
 - 地方譲与税 七百六十万円
 - 自動車取得税交付金 六百五十万円
 - 地方交付税 四億六千五百万円
 - 国庫支出金 五千五百三十四万二千元
 - 県支出金 一億六千五百八十七万八千円
 - 財産収入 三千七百九十九万一千円
 - 村高利債 九千六百九十四万二千円
 - その他 九千六百九十四万二千円
- 以上、小計十二億一千二百一十万円を見込み不足額七千万円については、財政調整基金からの繰入金四千万円及び前年度繰越金三千万円を充当して、収支の均衡をとったものであります。

年度分の実績に償却資産税の落ち込みによる収入減、辺地債などの元利償還金に対する需要額の増加分を見込み計上したものであります。なお国庫支出金、県支出金などの特定財源は、従来どおり指定補助事業費の調整段階で関係機関で確認のうえ措置しました。村債では約四千万円の増となっており、第三期山振事業の農林漁業などの健康増進施設、新林構、農村基盤総合整備など大型補助事業に加えて、河川整備、道路整備の単独事業の増加したことが原因であります。

減額したものではありません。村税で三百三十七万八千円、これは例年償却資産税が大幅に落ち込んでいますが、村民税の自然増収分と相殺してなおこれだけ減収になるわけであり、次に分担金及び負担金の減額は、前年度は農地基盤整備事業の分担金が計上されていきましたが、新年度は該事業がないことによるものであります。

う充分検討の上、健全財政の維持に配意いたしました。

当面する問題及び今後の村づくり

三十年、四十年代と続いた人口の大都市への集中時代は終り、いまや地方の自然環境や文化のよさを求めて徐々に地方定住の傾向が進んでいるといわれ、地方の時代が強調されて久しく、本村もこうした時代に対応するためここ数年来、公共投資を中心に社会環境の整備に鋭意努力を続けてまいりましたが、人口は残念ながら、いまなお減少の一途をたどっております。

この対策については、さまざまな角度から種々な施策が議論され、また貴重な意見もたくさんありますが、誰方の意見を聞いても、それは今後における行政の理念とでも申しますか、「経済的な豊かさ文化的な豊かさの追及でありそして快適な住民生活の確保」であります。

現代の若者は、長男長女の時代を迎え親元志向が強く、また精神面の安定と文化的環境への志向も強いと言われて

います。このような若者を受け入れ定住させるためには、まず物より心、量より質、そして文化的要素を行政のなかに取り入れた村づくりが必要であるとされています。

しかしなにより重要なことは、若者が定住できる就労の場をいかに確保するかであり、人口の絶対数の少ない本村では、企業の誘致もままならず、若者に職業選択の機会を与えられるような、就労の場の拡大は極めて困難であり、このことは村将来の発展のため重大な課題であります。

こうしたことから、一昨年来、産業振興調査会にお願いし、種々研究、ご検討の結果について最終答申をいただきましたので、実施可能なものからとの考えから、農林業を軸とした生産物の開発導入、育成のための指導体制の強化、木材工芸加工施設の設定などを予算化しましたが、県派遣職員をはじめ林産物生産促進組合職員が、社会教育との対アップによる指導活動、グループ造りなどによって、既に産物の試作、流通などについて

積極的な研究、検討が進められており、今後の成果を期待し、前向きに推進する次第であります。

次に教育問題であります。人口流出にともなう児童生徒数の著しい減少によって、小規模校となった中学教育の学力、集団性、社会性の低下については、かねてより憂慮していたところでありましたが、議会を始め村民各位のご理解とご協力によりまして朝日、大納両中学校の統合が決定し、新年度から「和泉中学校」として発足することになりました。

これは和泉村の次代を担う生徒達の教育に及ぼす効果は極めて大きいものがあると確信しますが、今後は教育の指導面の強化、施設の整備充実を図らなければならないと考えています。

さらに大納地区保育所と幼稚園の一元化についても従来から話題になっていますが、今国会で文部省と厚生省間の課題として検討が加えられることになりました。本村の場合、父兄の希望もありますので新年度の課題として、一元

化実現に努力いたす所存であります。

石徹白川水系の開発対策として、かねてから懸案になっておりました家族旅行村も、県の事業としていよいよ着手することになり、既に国・県の予算に計上されたことはご承知のとおりであります。本村には国民休養地もあり類似した施設では意味をなさないので、特色ある内容とするこゝに努め、既存施設との相乗的効果が期待できる内容にしなければならぬと考えています。なお当該地域に大規模スキー場開発の話がありましたが、本件についても企業側は断念したわけでないとの情報を得ていますので、これも将来像としてあきらめることなく誘致に努め、若者雇用の場の確保を図りたいと考えています。

最後に、交通通信網の整備になりましたが、国土の均衡ある発展とゆとりある地域社会を形成する基礎は、交通網の整備促進にまたなければならず、また活力ある経済社会と充実した国民生活を実現するためにも、交通網整備がそ

の鍵を握っているのであります。

越美北線は、幸い廃止予定の第二次計画から除外されたことには変わりなく、一次、二次計画路線の推移によっては、第三次計画に入ることも憂慮されるわけで、沿線住民の方々が利用率を高めることと共に、越美線の貫通実現と、その後の問題についても現在、そして将来の課題として沿線市町村が相諮って対処しなければなりません。

油坂道路改良整備も長年の念願でありましたが、昨年着工され、いよいよ新年度から本格的に事業が推進されるものと思えます。

県道白山中居神社朝日線については、昨年国家予算の厳しい折にもかかわらず、前年度に倍増する予算措置が行われ、予想以上に事業の進歩が図られました。新年度もそれを上回る予算を期待し、国・県に対して強く要望しているところであります。

さらに前坂橋架替えについても関係当局に対し、積極的に要請を続けていきましたが、

一般橋りよう整備事業として採択の見通しであり、朝日、後野間の未整備区間の改良も県当局の理解ある措置により大幅に促進される予定であります。

国では、財政の再建、行政改革の二つを国民的重要課題として、本格的な取り組みが進められようとしています。このような動向は、地方自治体に波及することは必定であり、本村も人件費などの経常的経費の軽減を図り、将来の財政の硬直化に対処しなければなりません。したがって、新年度には組織機構の再編、職員定数の見直しなどについて検討を加える考えであります。

以上、新年度予算編成に対する考え方とその概要を申し述べましたが、私は今後の村政執行にあたっては、村民の英知と総力を結集して、理想とする村づくりに渾身の努力をいたす決意でありますので

議会の皆様をはじめ村民各位には、絶大なご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。私の施政方針といたします。

新設和泉中

初代校長に 山崎博さん

4月1日付 教職員異動



(幸河・小澤・長谷川・安田・大谷)

四月一日付で本村の各小中学校教職員の異動があり、次のとおり着任されました。

- 転入 ()は前任校 (敬称略)
- ◆朝日小学校 校長 長谷川正信(開成中) 教頭 安田 裕(陽明中) 教諭 小澤 圭子(新採用) 事務 安川久美子(大納中)
 - ◆大納小学校 教諭 大谷誠史郎(新採用) 養教 幸河喜与美(新採用)
 - ◆和泉中学校 校長 山崎 博(朝日中)

- 教頭 福田 徹郎(大納中)
- 教諭 福田 邦仁(大納中)
- 教諭 森本 弘蔵(朝日中)
- 教諭 古川 清澄(大納中)
- 教諭 澤崎 孝也(朝日中)
- 教諭 森下佳代子(朝日中)
- 教諭 笹木 秀美(大納中)
- 養教 影長美裕喜(朝日中)

- 転出
- 安川五十三(朝小) 乾側小へ
 - 東 信行(大中) 尚徳中へ
 - 長谷川 忍(朝小) 本郷小へ
 - 新屋喜久男(朝中) 平泉寺小へ
 - 油谷 文雄(朝中) 三室小へ
 - 山本 弘行(朝中) 下庄小へ

- 三橋 里子(朝小) 陽明中へ
- 竹本 由範(大中) 有終東小へ
- 江守 雅弥(大中) 志比南小へ
- 江守 裕子(大小) 北郷小へ
- 吉田 恵(大中) 明道中へ
- 吉田千香子(大小) 森田中へ
- 川瀬恵美子(朝小) 有終西小へ
- 米村 弘子(大小) 有終南小へ
- 退職 教諭 高橋 映子(朝日中) 講師 森下 信子(朝日小)

58年度教育研究顕賞受賞者に

古川清澄さんから8人決まる

五十八年度教育研究顕賞の受賞式が三月九日(金)、中央公民館で行われました。

この賞は、教育振興に著しく貢献した児童生徒や教職員に贈られるもので、今回賞を受けた方々は次のとおりです。

- 古川 清澄(大納中教諭)
- 山本 法善(朝日小教諭)
- 山崎 史子(大納小講師)
- 河口 孝子(大納小講師)
- 奨励賞 坂井加奈子(大納小五年) 吉岡 則子(大納小五年) 尾崎 百恵(大納小一年)

表彰状

(敬称略)

尾崎 百恵(大納小一年)



菊辻 真理(大納小一年)

13名が小学校に入学

今年小学校に入学した児童は、次のとおりです。

◆朝日小学校(八名) (敬称略)

- 池尾竜太郎 男 朝日
- 川瀬 豊 男 後野
- 高見 利治 男 朝日
- 野尻 友也 男 朝日
- 洞口 寛 男 貝皿
- 上村 美加 女 朝日
- 島田まな美 女 貝皿
- 長島美千代 女 後野
- ◆大納小学校(五名)
- 京谷 一 男 上大納
- 松林 努 男 上大納
- 菊地 美樹 女 上大納
- 補伽 美奈 女 上大納
- 吉岡 由記 女 上大納

区長・班長決まる

今年の各地区の区長・班長さんが、次のとおり決まりました。

何かとご苦労さまですがよろしく願います。

(敬称略)

- 地区名 氏名
- 朝日前坂 原 源蔵
- 角野前坂 平瀬 安一

■後野	三島 勇	■板倉	森尾 義治
■川合	中村 厚子	■角野	田中 彰治
■朝日	平野 ちよ	■下山	清水 一英
一 班	中内 智利	■坂無	島田 俊子
二 班	山本 清孝	■池島	島 光義
三 班	道岸きよ子	■岡畑	谷 久枝
四 班	谷口 権一	■下大納	山内登子雄
五 班	米倉 功	■上大納	番屋喜代志
六 班	稲郷 栄一	■一 班	長崎 伸夫
七 班	酒井 勉	■二 班	辻 善範
八 班	中内 俊雄	■三 班	村下 幸治
	古島 忠夫	■中 竜	山崎 宣夫

生薬相場情報

生薬名	1kg当り(円)	先月との増減
黄れん	14,000~15,000	+1,000円
キハダ	950~1,050	+ 50円
しゃくやく	1,900~2,200	+ 0
とうき(大和)	1,300~1,400	+ 0
せんぶり	23,000~25,000	+ 0

(大阪仲間相場より)

※この情報についてのお問い合わせは、林産物生産促進組合(役場内)までご連絡ください。

特林コーナー 薬草の販売窓口を一本化

オウレンの販売は、昔から買付け業者と生産者との庭先現金販売の方法がとられていました。五十五年の秋口から輸入物(主に中国産)の影響により相場が大暴落し、国内物を業者が扱かわなくなり、なかなか引き合いがなく、業者も買付けにこないとか買いたたくという状態が続く冷遇期でありました。

しかし、近ごろ中国の輸入物の取引が減少し再度、国内物に引き合いがきえることか

ら1kg九千円まで下がった相場が現在1kg一万四千円から一万五千円まで上がり、薬草の相場としては正常の価格になってきています。

そこで今回これを機会に価格の公正、販路の安定、質の均一化を図るため、新年度から林産物促進組合がオウレンその他の薬草類の販売窓口となり、メーカー、業者の各ルートに販売する方法をとることにしました。

メーカーからの引き合い数

量を本村の過去の生産実績や労働力を考慮すると、年間二百kgから三百kgは出荷ができればこの数量を目安として年二回の出荷日に合わせて共同出荷体制をとります。

そこで問題となる労働力不足を考慮し、収穫作業工程の一部である最終段階の完全乾燥、みがき調整を生産促進組合で希望者に応じて行い、製品の均一化をはかるよう計画しております。

出荷に伴い七月ごろ、機械を使った、みがき調整の講習会を予定しております。

詳しいことは、林産物生産促進組合(役場内)までご連絡ください。

「青少年育成相談の家」制度が発足 あなたは子供のことで 悩んでいませんか

このたび本村で十九の家が「青少年育成相談の家」として登録されることになりました。

氏名 住所 (敬称略)

- 平野 勇 川合
- 谷口 武雄 上大納
- 新井 真澄 朝日
- 桜川 義夫 川合
- 谷口 新作 上大納
- 中内 智利 朝日
- 長岡 昇一 上大納
- 荒谷 繁雄 上大納
- 清水 一英 下山
- 米倉 久子 朝日
- 宮原 初子 朝日
- 吉垣 保 上大納
- 谷 一磨 下山
- 三島健太郎 後野
- 新屋 芳江 朝日
- 中村 主男 貝皿
- 平瀬 利雄 角野前坂
- 中屋 稔 朝日
- 坂井美代子 上大納 (登録順)

58年度分 越美北線・国鉄バスの 助成金請求は5月10日まで

五十八年度中(五十九年三月三十一日まで)に越美北線及び国鉄バスを利用された方で、まだ助成金の申請をしていない方がいます。事務処理のため五月十日までに必ず請求をすませてください。

今後とも皆様方のなお一層のご利用をお願いいたします。

国保だより

国保は相互扶助を目的とした制度

病氣やけがは、いつ襲ってくるかわかりません。そんなとき、お金がなくて医者にかかれないうことがあるとすれば、人々の幸福や社会の健全な発展はありません。不事の医療費の出費に備えて、私たちが平素からお金を出し合い、病氣やけがなどの際、お互いに生活上の困難を

助け合おうという目的から生まれたのが健康保険の制度です。会社へ勤めている人やその家族は、職場の健康保険、各種共済組合へ加入できますがこれらのいずれにも入っていない人のために、国民健康保険があります。つまり、すべての人が必ず

どこかの健康保険に入り、保険税を出し合っているというときのために、備えようとするもので、私たちの暮らしに、はとも大切な相互扶助を目的とした制度です。

保険税は国保を支える重要な財源です。国保の健全な運営のためにも、期限内に納めるようにしましょう。

5月は障害・母子年金などの

現況届の提出時期です

国民年金の障害年金・母子年金・準母子年金・遺児年金のいずれかを受けている人は五月三十一日までに「国民年金受給権者現況届」を、役場の国民年金係へ提出してください。

赤ちゃん誕生(敬称略)

名 前 保護者名続柄 住所
久保田 徹 清二次男 貝皿

▲おめでた(敬称略)
名 前 住所
土谷 美香 朝 日
後藤 春行 兵庫県



徹 くん

▲おくやみ(敬称略)
名 前 住所 年齢
西 はな子 下山 53歳

中閉校記念誌
納「わが母校」を
大購入希望の方へ
このたび大納中学校では、閉校記念誌として「わが母校」を発刊しましたので、購入を希望される方は、左記へ申し込みください。数に制限がありますので、早めにお願います。
●申し込み先
和泉中学校(福田教頭)
電話……二六五四

俳句・短歌コーナー

〔俳句〕

永き冬彼岸すぎても雪便り 千代子
笑み見せし梅のつばみに春の雪 ち ゆ
池の面に水音高し春の雨 ま さ え

〔短歌〕

風花舞う熱海の浜の白砂よ
握れば悲しさらさらと落つ と み 子
せせらぎに雪振り払うねこやなぎ
いのち輝く白がねの色 水 蓮

このほか、老齢年金と通算老齢年金を受けている人の現況届は、誕生月の末日が提出期限になっています。
昨年の六月一日以降、あら

